

鹿児島県医師信用組合の現況

2010 MINIDISCLOSURE

《上半期》

平成22年4月1日～平成22年9月30日



鹿児島県医師信用組合

〒890-0053 鹿児島市中央町8番地1
(鹿児島県医師会館・1階)

TEL (099) 251-3821

FAX (099) 252-6184

E-mail: sinyou@kagoshima.med.or.jp

◎ 掲載のマークは、全国信用組合統一シンボルマークです。

目 次

中間貸借対照表	1 頁
中間損益計算書	1 頁
主な経営指標の推移	1 頁
自己資本の構成	2 頁
自己資本比率について	2 頁
銀行勘定における金利リスクに関して、 金利ショックに対する経済的価値の増減額	2 頁
金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額	3 頁
22年9月末有価証券の時価情報	3 頁
地域貢献	4 頁

《中間貸借対照表》

(単位:千円)

資 産	平成22年9月末	負債および組合員勘定	平成22年9月末
現 金	20,351	預 金 積 金	27,120,367
預 け 金	16,746,353	普通預金	11,150,404
(うち全信組連預け金)	(8,863,912)	別 段 預 金	1,466
有 価 証 券	3,326,637	納税準備預金	81,338
国 債	1,626,860	定期預金	15,018,994
社 債	1,699,577	定期積金	868,165
株 式	200	そ の 他 負 債	65,763
貸 出 金	9,798,960	未 払 費 用	18,536
手形貸付	1,200	給付補てん備金	1,607
証書貸付	9,797,760	未払法人税等	12,626
その他資産	121,578	前受収益	16,954
全信組連出資金	20,000	未払諸税	471
前払費用	35,817	払戻未済金	-
未収収益	48,983	リース債務	15,566
仮払金	552	退職給付引当金	49,584
その他の資産	16,224	債 務 保 証	150,485
有形固定資産	14,010	(うち独立行政法人福祉医療機構)	(150,485)
リース資産	13,322	負 債 計	27,386,200
その他の有形固定資産	687	組合員勘定計	2,727,726
無形固定資産	2,659	出 資 金	29,219
リース資産	2,244	普通出資金	29,219
その他の無形固定資産	415	利益剰余金	2,698,507
繰延税金資産	10,567	利益準備金	38,078
債務保証見返	150,485	特別積立金	2,613,573
(うち独立行政法人福祉医療機構)	(150,485)	(うち退職給与積立金)	(14,338)
貸倒引当金	▲ 58,411	当期末処分剰余金	46,856
(うち個別貸倒引当金)	(▲ 23,870)	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	19,263
		純 資 産 計	2,746,990
合 計	30,133,190	合 計	30,133,190

(注)記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。その関係で合計と内訳を加算した金額とは必ずしも一致しません。(以下の各表における記載金額についても同様であります。)

《主要な経営指標の推移》

(単位:千円)

区 分	平成21年9月末	平成22年9月末
経 常 収 益	199,612	187,958
経 常 利 益	37,393	45,443
当 期 純 利 益	23,060	31,464
預金積金残高	26,645,473	27,120,367
貸出金残高	10,889,390	9,798,960
有価証券残高	1,899,660	3,326,637
総資産額	29,627,800	30,133,190
純資産額	2,667,472	2,746,990
自己資本比率(単体)	20.91%	21.81%
出資総額	29,688	29,219
出資総口数	29,688口	29,219口
職 員 数	10人	9人

(注)残高計数は期末日現在のものです。

《中間損益計算書》

(単位:千円)

科 目	平成22年9月末
経 常 収 益	187,958
資金運用収益	177,668
貸出金利息	111,641
預け金利息	41,633
有価証券利息配当金	23,593
その他の受入利息	800
役務取引等収益	10,290
受入為替手数料	218
その他の役務収益	10,072
その他業務収益	-
その他の業務収益	-
経 常 費 用	142,515
資金調達費用	20,468
預金利息	19,609
給付補てん備金繰入額	859
役務取引等費用	15,125
支払為替手数料	932
その他の役務費用	4,153
その他の役務取引等費用	10,039
その他業務費用	-
国債等債券償還損	-
その他の業務費用	-
経 費	97,113
人 件 費	48,511
物 件 費	48,465
税	136
その他経常費用	9,808
貸倒引当金繰入額	338
その他の経常費用	9,470
経 常 利 益	45,443
〈 業 務 純 益 〉	57,056
〈 コア業務純益 〉	55,251
特 別 利 益	-
貸倒引当金戻入益	-
その他の特別利益	-
特 別 損 失	100
固定資産処分損	100
その他の特別損失	-
税引前当期純利益	45,342
法人税、住民税および事業税	12,787
法人税等調整額	1,091
法人税等合計	13,878
当 期 純 利 益	31,464
前 期 繰 越 金	5,922
役員退職積立金取崩額	9,470
当期末処分剰余金	46,856

(注)出資1口当たりの当期純利益1,076円83銭

《自己資本の構成》

(単位:千円)

項 目	平成21年9月末	平成22年9月末
(自 己 資 本)		
出 資 金	29,688	29,219
うち非累積的永久優先出資金	—	—
優 先 出 資 払 込 金	—	—
資 本 準 備 金	—	—
利 益 準 備 金	38,078	38,078
特 別 積 立 金	2,563,043	2,613,573
次 期 繰 越 金	—	—
そ の 他	36,662	46,856
その他有価証券の評価差損(△)	—	—
営 業 権 相 当 額 (△)	—	—
自 己 優 先 出 資 (△)	—	—
〔 基 本 的 項 目 〕 計 (A)	2,667,472	2,727,726
土地の再評価額と再評価の直前の帳簿価額の差額の45%相当額	—	—
一 般 貸 倒 引 当 金	38,282	34,541
負 債 性 資 本 調 達 手 段 等	—	—
補 完 的 項 目 不 算 入 額 (△)	—	—
〔 補 完 的 項 目 〕 計 (B)	38,282	34,541
自 己 資 本 総 額 (A + B) (C)	2,705,754	2,762,267

(注)金融庁告示に定められた算式に基づいて算出したものです。

項 目	平成21年9月末	平成22年9月末
他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額	—	—
控除項目不算入額(△)	—	—
(控 除 項 目) 計 (D)	—	—
自 己 資 本 額 (C - D) (E)	2,705,754	2,762,267
(リ ス ク ア セ ッ ト 等)		
①資産(オン・バランス)項目	12,119,310	11,900,458
②オフ・バランス取引項目	175,914	138,232
③オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	639,666	622,447
リ ス ク ・ ア セ ッ ト 等 計 (F)	12,934,891	12,661,138
T i e r 1 比 率 (A) / (F)	20.62%	21.54%
自 己 資 本 比 率 (E) / (F)	20.91%	21.81%

- Tier1比率とは、基本的項目比率です。
- 信用リスク削減手法は、簡便手法を採用しています。
- 信用リスク削減手法は、貸出金と担保預金の相殺のみです。
- 外国債等の国外の資産は保有していません。
- 証券化取引は行っておりません。
- 信用リスク・ウェイトの判定に使用する適格格付機関はスタンダード・アンド・プアーズ(S&P)、日本格付研究所(JCR)、格付投資情報センター(R&I)の格付を採用することとし、格付機関毎に格付が相違した場合は、格付が真中の格付機関の格付を採用します。

《自己資本比率について》

(1)自己資本比率とは、資産の信用リスク・アセットの合計額とオペレーショナル・リスク相当額に対する自己資本の割合(自己資本額÷リスク・アセット等計)を示すもので、金融機関の安全性や健全性を評価するうえでの重要な指標です。自己資本比率の基準としては、当組合のように国内のみで営業を行う金融機関の場合(国内基準)は4%以上、海外にも営業拠点を有する金融機関の場合(国際統一基準)は8%以上を維持することが求められています。

(2)信用リスク・アセットの合計額は、保有する資産種類ごとに、それぞれ安全性の度合いにより告示で定められた掛目(リスク・ウェイト・%)を乗じて計算する、標準的手法により算出しています。例えば、資産のうち「現金」や「我が国の中央政府及び中央銀行向け」の国債等は、安全性に問題のない資産として掛目は0%、「預け金」は(本邦金融機関向け預け金)20%、「貸出金」の内、「抵当権付住宅ローン」は35%というように定められています。当組合の資産額は301億3千3百万円ですが、信用リスク・アセットの合計額は、①資産(オン・バランス)項目と②オフ・バランス取引等項目の合計で120億3千8百万円となっております。

(3)オペレーショナル・リスク相当額は、事務事故や不正行為などによって損失が発生するリスク相当額で、当組合は粗利益に一定の掛目(15%)を適用する基礎的手法により、算出しています。オペレーショナル・リスク相当額は4千9百万円、③オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額は6億2千2百万円です。

(4)当組合の自己資本比率は21.81%であり、国内基準をクリアし、国際統一基準をも大幅に上回る高い安全性・健全性を維持しています。

《銀行勘定における金利リスクに関して、金利ショックに対する経済的価値の増減額》

当組合は、四半期毎に保有期間1年、観測期間最低5年で測定される99パーセントイルと1パーセントイルの金利変動のリスク量で金利リスク量を算出しています。当組合の金利リスク量は、自己資本額の20%の範囲以内ですので、金利ショックに対する影響は軽微です。尚、金利リスク量の算出に際し、要求払預金の50%相当額をコア預金(明確な金利改定間隔がなく、預金者の要求によって随時払い出される預金のうち、引き出されることがなく長期間滞留する預金)として、残存平均期間2.5年として換算しています。

(単位:百万円)

	平成21年9月末	平成22年9月末
金利ショックに対する経済的価値の増減額	20	212

《金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額》

(単位:百万円・%)

区 分	平成22年3月末	平成22年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	26	23
危 険 債 権	—	—
要 管 理 債 権	—	—
不 良 債 権 計 (A)	26	23
正 常 債 権	10,444	9,925
合 計 (E)	10,470	9,949
担 保 ・ 保 証 等 (B)	4	—
貸 倒 引 当 金 (C)	21	23
保 全 額 合 計 (D) = (B) + (C)	26	23
担保・保証等、引当金による保全率(D)/(A)	100.00	100.00
貸倒引当金引当率(C)/(A-B)	100.00	100.00
不 良 債 権 比 率 (A) / (E)	0.25	0.23

- (注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
 2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
 3. 「要管理債権」とは、「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。
 4. 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に問題がない債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権です。
 5. 「担保・保証等(B)」は、「不良債権計(A)」における自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
 6. 「貸倒引当金(C)」は、「正常債権」に対する一般貸倒引当金を控除した貸倒引当金です。

《22年9月末有価証券の時価情報》

(単位:百万円)

満期保有目的の債券で時価のあるもの

貸借対照表計上額	時 価	評価損益
国 債	1,017	17
社 債	1,762	62
合 計	2,780	80

その他有価証券で時価のあるもの

貸借対照表計上額	時 価	評価損益
国 債	626	27
社 債	—	—
合 計	626	27

(注)時価のない有価証券の貸借対照表計上額は、非上場株式の200千円であります。

《地域貢献》

【地域に貢献する当組合の経営姿勢】

1. 医師会活動に協力することにより、医師会員および地域の方々への貢献に努める。
2. 融資推進により、医師会員の医業経営および地域医療の充実に寄与する。

【文化的・社会的貢献に関する活動】

鹿児島県医師会が主催する「救急医療週間行事」に協力しています。

【預金を通じた地域貢献】

1. 協力預金（普通預金・決済用預金）は、開業の先生方や医療法人をはじめ、医師会関係等に協力頂き、111億円の残高となりました。
2. 医業経営対策積立金は、勤務医師の先生方をはじめ組合員全員に協力頂き、32億円の残高となりました。
3. 上記協力預金の合計額143億円のうち、68%にあたる97億円が地域医療に携わる先生方への融資資金として活用されています。

【融資を通じた地域貢献】

平成22年度上半期 新規の融資実行額

融 資 商 品	件 数	実 行 金 額
事 業 ローン	5	2千3百万円
団信付 ローン	6	5千2百万円
一 般 融 資	23	3億4千3百万円
信用保証協会融資	1	3千万円
季節特別融資	28	1億6百万円
ドクターサポートローン	1	2百万円
フリーローン	10	5千5百万円
住宅ローン	5	1億2千9百万円
保 証 融 資	5	2千2百万円
ホープローン	21	4千3百万円
医師会関係融資	1	1億1千6百万円
合 計	106件	9億2千4百万円